

令和6年

雲南市議会 9月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和6年9月3日～9月5日】

令和 6 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	9/3(火) 9 時 30 分～	5／鶴原 能也	一問一答	1～3	11	9/5(木) 9 時 30 分～	12／中村 辰眞	一問一答	20～23
2		10／中林 孝	一問一答	3～4	12		15／周藤 正志	一問一答	23～24
3	9/3(火) 13 時 00 分～	18／白築 俊幸	一問一答	4～6					
4		7／宇都宮 晃	一問一答	6～7					
5		14／佐藤 隆司	一問一答	7～9					
6	9/4(水) 9 時 30 分～	8／上代 和美	一問一答	9～12					
7		2／安田 栄太	一問一答	12～13					
8	9/4(水) 13 時 00 分～	1／多賀 法華	一問一答	13～15					
9		6／梶谷 佳平	一問一答	15～19					
10		11／松林 孝之	一問一答	19～20					

令和 6 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表

令和 6 年 8 月 28 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	5	鶴原 能也 (一問一答)	1. 地域計画作成について 2. 雲南市学校給食センターについて	令和 5 年 4 月に改正農業経営基盤強化促進法が施行され、令和 7 年 3 月末までに農業経営基盤の強化の促進に関する計画、「地域計画」の策定が義務づけられた。 (1) 地域計画とは何か、また現行の「人・農地プラン」との違いについて伺う。 (2) なぜ今、地域計画を作成する必要があるのか、また作成する目的と求めるものについて伺う。 (3) 雲南市の計画策定のための推進体制と話し合いの単位について伺う。また、策定の進捗状況について伺う。 (4) 市長の考える耕作放棄地の復元方法と活用方法について伺う。 (1) 7 月の島根県内の平均気温は出雲や斐川、浜田など 10 観測地点のうち 12 地点で過去最高を記録したとの報道があった。8 月も危険な暑さが続く猛暑の中、調理室、特に蒸気釜を使用する炊飯室の室内温度は 35 度を優に超えるそうだが、調理職員の熱中症対策と 8 月は食品衛生月間だったが、食中毒対策についての取組について伺う。 (2) 調理器具の更新について ①調理器具の日常点検はどのように実施されているのか伺う。 ②経年劣化による異物混入の恐れのある調理器具、例えば炊飯釜などについては、未然防止の観点から更新計画などを策定して、順次更新すべきと考えるが見解を伺う。 (3) 給食配送の安全管理について ①大東小学校での給食コンテナの積み降ろし時に配送車は市道に	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 教育長の考える 不登校対策について	”はみ出して”駐車している。警察の道路許可を受けているのか伺う。 ②大東学校給食センター、加茂給食センターの給食配送者(運転手)は1名、中央給食センターは7系統のうち5系統が給食配送者(運転手)2名である。配送委託業務における運転手の人数について、根拠規定などあるのか伺う。 ③現在、大東学校給食センターの給食の配送については、給食配送者(運転手)だけでは対応が難しく、学校からの補助者1名の計2名で実施されている。給食の配送は大きく重たいコンテナを扱うことで、事故のリスクもあるが、配送作業の補助者についての規定はあるのか伺う。 ④大東小学校の給食コンテナ室に3段の階段があり、最上段にあるコンテナから食缶を取るため、児童が段差に”つまずく”など安全面で問題がある。「階段、傾斜のないフラットなコンテナ室へ改修願いたい」という修繕工事の要望書が3年前から大東小学校から教育委員会へ提出されているが未だに改善されていない、児童の安全確保の観点から見解を伺う。 (1)雲南市では、毎年7月31日時点での小学校、中学校の不登校、不登校傾向の児童、生徒数が集計されている。残念ながら本年7月末も不登校、不登校傾向の児童、生徒数は前年度より増加した。増加の要因について教育長の見解を伺う。 (2)不登校児童の低学年化、また兄弟姉妹で不登校となるケースが多くなっていると聞くが、教育長の見解を伺う。 (3)保護者の間に「つらいときは学校に行く必要はない」、「昔と違っ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				て今は学校に行かなくても代わりの施設が整ってきた、学校が唯一絶対的存在ではない」これらの意見に対する教育長の見解を伺う。 (4) 昨年 12 月定例会一般質問に、前教育長は令和 3 年度に雲南市不登校対策プロジェクトを立ち上げ、未然防止と初期対応に重点的に取り組んでいると発言されたが、現在の活動内容と成果について伺う。また教育支援センター温泉キャンパスの現状評価、今後の在り方と期待することについて教育長の見解を伺う。	
2	10	中林 孝 (一問一答)	1. 老人福祉について 2. 市政運営について	(1) 老人クラブの役割は何か、老人クラブの意義について伺う。 (2) 老人クラブの会員数の減少が続いている。なぜ減少が続くのか、この状況をどう考えるか。 (3) 会員数の減少対策について伺う。 (4) 老人クラブの活動と認知症、介護度の関連について伺う。 (5) 今春、老人クラブへの補助金の返還を巡って混乱があった。補助金を返還した町、返還しなかった町はどこか。なぜこのような事態になったのか原因と対策を伺う。 (6) 老人クラブと社会福祉協議会の連携が必要ではないか、社会福祉協議会の関与も含め伺う。 (7) 老人クラブが行っている様々な事業とその他の諸団体が行う事業と重複するケースがある。どのように考えるか。 (1) 地域自主組織の「自主」とは何か、「自主性」が生かされ十分に発揮されているか。 (2) 次期一般廃棄物処理施設の検討は進んでいるか。まずは建設用地を早急に選定し、諸準備にかかる必要があるのではないか。 (3) 雲南市・飯南町事務組合が行っている事業を今後どうするか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(4) 本年 6 月、雲南市中心市街地活性化協議会から「木次駅前地区整備に関する提言書」が市長宛に提出された。事業化に向けた方針を伺う。 (5) 本市内には老朽化した小中学校が複数あり順次建て替える必要がある。今後の建て替え計画を伺う。 (6) 島根かみあり国スポ全スポ 2030 が予定されている。競技会場の準備や財政面での負担について伺う。 (7) 今後見込まれる諸財政需要に財源確保は出来るか。今後 10 年間の財政見通しを伺う。 (8) 石飛市政の掲げた「雲南プライド」とは何だったのか、成果は何か、総括を踏まえ今後の展開を伺う。	
3	18	白築 俊幸 (一問一答)	1. 農業振興について	食料・農業・農村基本法の改正に伴う「農村」については、①総合的な振興策として、多面的機能支払い、農福連携等、②中山間地域等の振興策として、農村型地域運営組合（農村 RMO）や鳥獣害対策、そして③都市と農村の交流として、農泊や 2 地域居住が掲げられている。 (1) 中山間地域等の総合的な振興策の一つとして掲げられている農村 RMO について、この有用性、効果をどう捉えているのか伺う。また、集落協定活動の中の広域化加算や集落機能強化加算との差異は何か。 (2) 農村 RMO は、現在、島根県内で 7 地区実施されており、本市では、躍動とやすらぎの里作り鍋山において事業展開されている。鍋山地区の活動をどう評価しているか。また、今後、本市での水平展開についての考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 脱炭素社会実現 計画について	(3) 都市と農村の交流施策の一つとして、農泊が掲げられているが、提供できる家屋の状況や、一般的に引っ込み思案の市民の性格等からすると限定的であり、大々的に推進することは難しいと思うが、本市の考え方を伺う。 (4) また、農村関係人口の増加が掲げられている。民谷での草刈り応援隊もその一つであろうが、市内での現状と今後の考え方を伺う。雲南市脱炭素社会実現計画として、具体的なロードマップのもとに4つのプロジェクトが展開されている。 (1) 再生可能エネルギーの推進策として、水力発電が掲げられている。200kW以上の小水力発電を1基以上、5kW以上のマイクロ水力発電が10基以上とされている。一部の団体等に候補地の照会もされたようだが、今後、場所選定を含め、具体的にこのプロジェクトをどのように進めるのか伺う。 (2) 水力発電については、数年前、可能性調査を実施され、採算ベースに合わないとは断念されたと思うが、地球規模の最優先課題である脱炭素について、採算性をどのように考えるのか伺う。 (3) 森林資源の活用策として、針葉樹の活用、広葉樹の活用、竹材の活用があげられているが、それぞれについて、具体的な活用方法を伺う。 (4) ゴミゼロ社会の実現策として、ゴミの分別徹底が挙げられているが、分別種類を増やすほど台所には仕分け袋が増えることになる。また、高齢者には、そんなに細分化されても対応できないとの声も聞くが、これらの点について、考え方を伺う。 (5) 地球温暖化は待ったなしの課題であり、息の長い取り組みとなっ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				て行かざるを得ないと思うが、運動を持続的に継続させるため、以下の2点について、所見を伺う。 ①スマホをゴミにかざすと、分別先を教えてくれるようなアプリの開発 ②モチベーションを維持するためのポイント制度の創設	
4	7	宇都宮 晃 (一問一答)	1. 全国学力調査について	文部科学省は7月下旬、小学6年生と中学3年生を対象とする全国学力調査の今年度の結果を公表した。調査は4月に行われ、国公立の小学6年生約96万人、中学3年生約90万人が参加した。国公立の平均正答率は、小学6年生の算数が63.6%(昨年度62.7%)、国語が67.8%(同67.4%)、中学3年生は数学が53.0%(同51.4%)、国語が58.4%(同70.1%)であった。 中学3年生の国語が昨年度より10ポイント以上、下がった理由について文科省は、条件や問いの趣旨に沿って記述式で解答する問題が多く出題され、その正答率が低かったと説明している。 「必要な情報を取り出したり、表現の効果を考えて説明したりすることに問題が見られた」としている。 都道府県別平均正答率(%)をみると、島根県は小学6年生、中学3年生いずれも、国語、算数、数学の教科全てで全国平均を下回った。 (1)雲南市の小学6年生、中学3年生の各教科別の平均正答率を問う。また、島根県との差はあるのか問う。 (2)島根県の算数の平均正答率は全国(公立)と比べて2.4ポイント下回る61%、数学は3.5ポイント下回る49%であった。算数は二つの量の割合を考える「変化と関係」の領域の正答率が低かったようである。分速を求める問題で、与えられた分速の数字同士を足す誤答が目	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 小中学校の図書館の蔵書目標について	立ったとし「速さや時間、道のりといった単位そのものを十分理解できていない可能性がある」と県教委教育指導課は指摘している。 これまでの一般質問で何回か質したように、島根県の算数、数学は全国平均以下の低迷が続いている。特に問題のある分野は何か、それに対する対応策は図られているか県教委および市教委の分析結果を問う。 (3) 全国学力調査は 2027 年度に、「紙」からパソコンを使ったオンラインでのテスト「CBT」(Computer Based Testing)に全面移行する予定である。経費削減も期待されるが教育長の所見を問う。 (4) 2024 年度全国学力調査と同時に実施されたアンケートでは、SNS や動画視聴に費やす時間が 2022 年度と比べて延びていることがわかった。中学 3 年生の 3 人に 1 人が「1 日 3 時間以上」という結果になった。SNS や動画を見る時間が長いと正答率が低くなる傾向が見られた。雲南市の状況はいかがか。 島根県内の公立小中学校の図書館で、文部科学省が定める蔵書数の「数値目標」を達成している学校が、2020 年度で小学校 60.1%、中学校 33.7%にとどまっている。購入費の不足などが原因と考えられる。 (1) 雲南市の小中学校の数値目標の達成状況を問う。 (2) 最近 5 年間の小中学校の図書購入費の推移を問う。 (3) 2023 年度の文科省の調査では、平日に授業以外に全く読書をしていない児童生徒の割合は小学校 27.8%、中学校 32.3%に上る。読書は子どもの読む力や情報活用能力に欠かせない。目標達成に向けて学校と連携して取り組むべきと考えるが教育長の見解を問う。	
5	14	佐藤 隆司	1. 農産物流は少	(1) 市長就任時以来、物流のあり方に触れられているが、今まさに物	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	量・多品目栽培の 推進から	流の 2024 年問題となりその対応・対策があらゆる面で必要となってきた。問題の根源は人口の偏りで、東京一極集中など都市圏域への人口流出（誘導）による日本列島の国土軸の不均衡さにあり、農産物流も大きな影響を受けており、地方からの大量生産・大量出荷に問題も生じている。地域の近郊で消費できる地産地消が益々見直されつつある中、あらためて人件費や燃油、時間の消費が無駄と思われるのに加えて脱炭素にまで影響を及ぼす問題だと考える。 ①産直では阪急オアシスへの出荷中止もそうした要因か伺う。 ②JA しまね雲南地区本部ではイオンモール出雲への雲南農産物の販売が開始された。すでにマックスバリュ出雲今市店で産直物流の実証販売(令和 4 年 9 月)がされているが課題・問題をどう検証されているのか伺う。 ③検証結果に対する今後の対応を伺う。 ④雲南地域の中山間地農業では少量・多品目栽培の取り組みが早くからされており、そうした実績から新規就農者も取り組みやすいと考えるがどのように推進されるのか伺う。 ⑤食は医療の原点とも言われるとおり、「食に勝る薬はない」と思うが、そうした面でも非農家を含め生産者を増やす取り組みが必要であり今後の対応を伺う。	
			2. 定住促進への次の一手は	(1)令和 5 年 3 月の一般質問で「次の一手」として持ち越しとしていたその具体策について伺う。 ①雲南市住宅マスタープラン(平成 28 年度～令和 7 年度)では、住宅政策の課題が整理され、それに対して 3 つの柱の目標が示されている。その内 1 つの目標「多様なニーズに対応した住まい・住宅地づく	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				り」に住宅地の整備や宅地開発を誘導するとあるが、その実績と評価をどう検証されているのか伺う。 ②過去 10 年間の新設住宅着工戸数(持家)の推移から今後の傾向をどう見通しされているのか伺う。 ③民間集合住宅(貸家)が木次町斐伊地内に急激に建築されつつあるが、今後の傾向をどう見通しされているのか伺う。 ④公営・公的賃貸住宅や民間住宅(貸家)から戸建て住宅(持家)取得へとより定住に結び付けるための施策が必要ではないか見解を伺う。 ⑤市としての戸建て住宅分譲地の必要性の考えと必要数(ストック数)を伺う。 ⑥民間事業者による住宅分譲地内の市道編入の過去 10 年の実績をどのように評価されているのか伺う。 ⑦建築関連事業はすそ野の広い産業で、民間事業者の住宅分譲地開発の促進が必要と考えるが見解を伺う。 ⑧民間事業者(協会等)による情報提供と開発等協議(土地提供者承諾含む)後、土地開発公社による先行取得から住宅分譲地の造成後、民間業者(協会等)含め分譲地の区画販売を進めればスピード感あるミニ住宅団地整備となるが見解を伺う。	
6	8	上代 和美 (一問一答)	1. 国保料 7%引き 上げについて	(1)9 月定例会に上程された国民健康保険事業特別会計補正予算案で保険料の 7%アップを示された。当初予算で保険料据え置きとしておきながら、今後 5 年間の試算をしたので 7%アップとはあまりにも乱暴な予算の組み方ではないか。試算は当初予算時でもできるのではないか。加入世帯の多くは長引く物価高騰にあえぎ苦しんで	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 子育て支援について	いる状態である。そもそも「保険料が高い。何とかしてほしい」という声にまずは基金を取り崩して、据え置く対応をすべきではないか。 (2)2018 年度からの国保の都道府県化はひとえに医療費の削減、ひいては国庫負担を減らすことが狙いである。今回のいきなりの保険料アップは国の国保運営方針の改定に向けたガイドライン見直しで、国保財政と運営方針で市町村が縛られることになったための動きからではないのか。 (3)国保の都道府県化は保険料水準の県内統一をめざすが、保険料が高くなることが必然となる。そのことは先行して府内完全統一を令和 6 年度から導入している大阪府の状況からもはっきりしている。また、統一することにより各自治体が単独で取り組んでいた支援策が廃止になるということも聞いているが、今現在島根県ではどういう状況なのか。 (4)国民健康保険制度は均等割や平等割という協会けんぽにはない保険料体系があり、同じ世帯条件ではほぼ保険料が 2 倍となる。そして子どもの数が多いと所得が同じでも保険料が高くなってしまふ。また、多くの被保険者の所得が低く、高齢者が多いので、医療費も高くなるという構造的な問題もある。全国知事会が提案している国庫負担 1 兆円を投入し国保財政を安定化していく以外道はない。市長の見解を求める。 (1)先般、社会福祉関係の方々から意見を聞く機会があり、現場の生の声を聞くことができた。その中で、放課後児童クラブの長期期間(夏休みなど)預かりで弁当の栄養面で憂慮する声を聞いた。長期休暇中の子どもたちの食事がきちんとできているか大変憂慮する。そ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 原発問題について	こでいくつか提案する。 ①弁当のおかずだけでも安価で配食できないか。 ②出雲市で行っているような 24 時間のフードバンクはできないか。 (2) 学校給食費の無償化で子育て世代全体へ負担の軽減を図るべきではないか。 (1) 今年 12 月に島根原発 2 号機が再稼働の予定になっているが、危険な原発を次世代へ持ち越すことは絶対にさせてはならないという立場からいくつか質問をする。 ①日本列島は地震活動が活発化しつつあり、どこで大地震が起こってもおかしくない状況にある。新規制基準に合格したから安全が担保されているという安全神話にどっぷりつかっているのではないか。宍道断層は震度 7 クラスの地震が想定されているが、自然災害には想定不能なことがおこりうる。それでも島根原発 2 号機を再稼働させて大丈夫なのか。 ②「核のゴミ」の最終処分地が見通せない。また、使用済み核燃料の再処理工場も 27 回目の完成延期で行き場も限界が近づいている中、再稼働をさせていいのか。 ③原発でできる電気のコストは 2021 年 8 月の試算で 11.7 円以上 /kWh とされている。今後安全対策や廃炉処理にどれだけかかるか不明なので 11.7 円以上となっている。特に福島原発事故での燃料デブリの取り出しは困難を極めており、どれだけ税金を投入しなければならないのかはかり知れない状況になっている。次世代にこれから多くの負担を残す原発から撤退すべきではないか。 ④日本共産党雲南市委員会が今年行ったアンケートでは島根原発 2	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				号機再稼働について賛成が 16%、反対が 46%、延期が 9%であった。市民の意見は反対と延期をあわせると 55%である。どうしてこの声に市長はこたえようとししないのか。	
7	2	安田 栄太 (一問一答)	1. 林業振興について	令和 4 年度に林業振興ビジョンが策定され、本市の 50 年後の森林環境のあるべき姿が示された。50 年後には持続可能な森林環境がある状態にするため、今やるべきことの基本方針として「森林を活かす」「森と木で稼ぐ」「人を育てる」の 3 つの基本方針を掲げて林業振興に取り組むとされた。 (1)「森林を活かす」について ①森林情報のデータベース作成の進捗状況は。 ②所有者不明の森林への対応は。 ③ICT の活用における人材確保や育成は進んでいるか。 (2)「森と木で稼ぐ」について ①川上まで効果がある流通プラットフォームの構築は出来たか。 ②広葉樹の高付加価値化、販路開拓の進捗状況は。 ③バイオマス材の利用量は年間約 3,000 トンあり、そのうち市民参加の搬出量は 1,000 トン弱で平成 27 年度をピークに減少傾向にあるが、このシステムの登録者は増えている。搬出量減少の原因は何か。 ④本年 7 月、パリで開催されたジャパンエキスポにて、市内の事業所が組子細工を出展された。日本の工芸技術を通して県産材の魅力を世界に伝え、海外での販路拡大及びより高い付加価値を産むきっかけになると考えるが、見解を伺う。 (3)「人を育てる」について、林業振興において人材の確保、育成が一	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 異常気象と環境 変化について	番難しい課題である。インターンシップの受け入れや地域おこし協力隊の活用等、様々な可能性を模索してきたが十分な成果が得られていない。原因は何か。また、今後の対策はあるか。 (4) 林業振興の大きな財源として森林環境譲与税があるが、配分が見直され増額された。譲与税増額に伴い林業振興のどこを強化したか。またその成果は。 近年、異常気象や環境変化で毎年のように酷暑が続き、熱中症警戒アラートが発令される日が続いている。また、局所的な豪雨なども頻発している。 (1) 仕事や作業をする際は熱中症のリスクが高まり、自己防衛のためにファン付き作業着を着る人が増えている。命の危険も考えられる熱中症のリスクを低減するため、購入等への支援はできないか。 (2) 本年7月9日から11日にかけての豪雨により、木戸道が崩壊した家があった。現在、木戸道の復旧や応急措置を支援する制度はないが、自己負担での復旧は相当な費用がかかると予想される。これを機にその地域からの転出や離農につながることも考えられるが、本市の見解を伺う。	
8	1	多賀 法華 (一問一答)	1. えすこな雲南市 について	(1) 雲南市に在住のある方とお話していたときに、「もし、自分が介護状態になって、迷惑をかけるようになったら自死する」という言葉を聞いた。また私は、現在独身で実家暮らしだが「働けなくなったら邪魔になる」、「結婚して子どもを産んで育てるから生きている価値があるんじゃないか。」と言われたことがある。市長はこうした言葉についてどう感じるか。 (2) 今年の7月17日に、岸田総理が、総理大臣官邸で、旧優生保護	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				法、国家賠償請求訴訟原告団等の方々と面会をされた。戦後間もない 1948 年につくられた旧優生保護法の目的の一つは、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止をする」ことだったとされている。その後の価値観にもかなり影響する法律ではなかったかと思われる。本年 7 月 3 日に、最高裁で、旧優生保護法の規定について不妊手術を行うことに正当な理由があるとは認められず、手術を強制することは憲法第 13 条に違反し許されないと指摘、またすべての国民は法の下に平等であり差別されないとする憲法第 14 条にも違反し、旧優生保護法は憲法違反という判断がなされた。不法行為から 20 年を過ぎると賠償を求める権利がなくなるという除斥期間については、適応すべきだという国の主張は、権利の乱用で許されないとして認めなかった。旧優生保護法や今回の判決について市長はどのように受けとめられたか伺う。 (3)障がい児は児童福祉法、高齢者は介護保険法、障がい者は障害者総合支援法があり縦割りですすめられてきた。障害者総合支援法の基本理念で、共生社会を実現していきましょう、社会的障壁をなくしていきましょうというようなことがうたわれている。平成 30 年に共生型サービスという制度が設けられた。共生型サービスとは、「介護保険サービス事業所が、障害福祉サービスを提供しやすくする」「障害福祉サービス事業所が、介護保険サービスを提供しやすくする」ことを目的とした指定手続きの特例として設けられた制度である。この特例を活用し、同一事業所において、介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を提供することで、「障がい者が 65 歳以上になっても、同一事業所を継続利用できるようになる。」「高齢者・	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				障がい児者とも、利用できる事業所の選択肢が増える。」「介護」や「障がい」といった枠組みにとらわれず、多様化・複雑化している福祉ニーズに臨機応変に対応することができる。」「地域共生社会を推進するためのきっかけとなる。」「人口減少社会にあっても、地域の実情に応じたサービス提供体制整備や人材確保を行うことができる。」といったように、各地域で発生している課題の解決や掲げている目標の達成の一助となることが期待されている。今年の３月に第４次雲南市障がい者計画が策定された。24 ページに、「近年、介護保険サービスとの併用が増えており、国の施策として障がい福祉制度と介護保険制度を合わせた共生型サービスが始まりましたが、市内に指定事業所はまだありません。」とあり、38 ページには、「介護保険サービスとの併用が増えており、介護支援専門員と相談支援専門員、事業所との連携を強化します。高齢者と障がい者が同一事業所でサービスを受けられるように、介護保険制度と障がい福祉制度との共生型サービスについての啓発を行い、共生型サービスが提供できる事業所の開設支援を行います。」とある。共生型サービスのメリット、デメリットをどのように考えておられるのか。また、現在の進行状況について伺う。 (4)第３次雲南市総合計画の将来像が、「えすこな雲南市」に決まった。たくさんの価値観の中で、誰にとってもちょうど良い雲南市に向けて市長の本気度を伺う。	
9	6	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 除雪対応について	(1)除雪ボランティアへの対応について ①予定除雪ルートを除雪中、除雪ボランティアが怪我をしたり除雪ボランティアの機械や地域自主組織から借りた機械が壊れた。現場	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 防災について	のものを壊したり他人に怪我をさせた場合、市はどこまで補償・支援等を行うのか。 ②除雪予定外ルート(場所)を除雪中、除雪ボランティアが怪我をしたり除雪ボランティアの機械や地域自主組織から借りた機械が壊れた。現場のものを壊したり他人に怪我をさせた場合、市はどこまで補償・支援等を行うのか。 ③市は除雪ボランティアに対して、先程の質問について、市の対応を説明しているのか。 ④除雪ボランティアに対して、除雪ルートの市道や歩道等での障害物等により機械が壊れる・怪我の可能性がある場所を事前に説明しているのか。 (2)各地域自主組織に設置した除雪機について ①市は各地域自主組織へ設置している除雪機の稼働状況を把握しているのか。 ②除雪機が使用されていない時間、高齢者や要支援者宅の進入路・木戸道の除雪に使用出来ないか。 先月、8月8日(木)宮崎県での地震を受け、気象庁は初めて「巨大地震発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まっている。」として「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表した。南海トラフ地震が発生すれば、日本海側もかなりの被害が見込まれることから雲南市の災害対応について伺う。 (1)防災計画について 「雲南市地域防災計画は、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第42条の規定に基づき雲南市が作成する計画であり、市、関係機	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				関、住民等が相互に有機的な関連を持って市民の生命、財産を保護することを目的としています。」とあるが、風水害等対策編は約400ページ、震災対策編は300ページ、原子量防災対策編は80ページ。資料編を加えると1200ページにもなる。 ①市の関係機関、市民が把握するための説明会・研修は行っているのか。研修会を行っているとすれば、関係機関・市民の参加率はどの程度か。 ②各地域自主組織の防災計画は昨年と比較して未作成のところが少なくなっているのか。 ③作成できていない所があれば、作成出来ない要因は何か。全ての地域自主組織が作成終了する予定はいつか。作成できていない地域自主組織へ、作成できるように市としての助言指導は行っているのか。 ④避難優先度の高い要支援者や高齢者・障がい者の個別避難計画は100%作成されているのか。 ⑤要支援者や高齢者・障がい者の個別避難計画が十分に作成されていないのなら、せめて我が家の防災行動計画であるマイタイムライン作成支援を各地域自主組織や市が支援してはどうか。 (2)福祉避難所等について ①高齢者や障がい者が避難できる「福祉避難所」の受け入れ態勢は十分か。 ②小中学校の体育館の冷暖房設備は大丈夫か。 ③福祉避難所や病院は、非常用自家発電設備や燃料・水はどの程度の日数分確保されているのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				④新体育館の建設より、今ある体育館の冷暖房設備の設置を優先すべきではないか。 (3)避難訓練の実施状況について ①避難訓練は、各地域自主組織で毎年実施しているのか。(未実施組織は昨年より減ったか) ②避難計画未作成・避難訓練をあまり実施していない地域自主組織の場合、要支援者等をだれが避難誘導等をするのか決まっているのか。市は、避難計画未作成・避難訓練をあまり実施していない地域自主組織へ指導を行っているのか。 ③いざ避難となった時、高齢者・障がい者は避難行動を嫌がると聞く。普段から、本来は避難所ではあるが、常に人が集まる場所を作り、日々そこに行く習慣を作ることによってスムーズに避難所へ誘導できる可能性があると思う。そのような場所はあるのか。 ④地域自主組織や自治会未加入者の安否確認はどうするのか。 (4)市民の救助について ①市民の救出や治療のため、県以外に、ヘリコプター所有企業、近隣市町村の病院等との連携協定を締結しているのか。 ②避難所での食料対応のため、県以外に、ヘリコプター所有企業、近隣市町村の食品製造企業、コンビニ等との連携協定を締結しているのか。 ③災害時、被害状況の把握はどのようにしているのか。 (5)耐震支援について ①住宅の耐震補強は高額で年金暮らしの高齢者には負担が大きい。負担が少なくなる、良い支援制度は有るのか。	

[illegible]

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				①市内の販売価格と販売量の状況は。 ②生産意欲が低下しないためには生産者米価の引き上げが重要。小売り価格との連動が必要で景気全体を視野に段階的な対応がもとめられるが対策は。 (3)市内産業全体の人出不足と人件費高騰で都会地とは異なり景気は停滞している。 ①島根県の最低賃金は、過去最高の前年比 58 円の引き上げ金額となったが、小売り、サービス、運輸、福祉、市委託業務(給食・ごみ処理)等様々な市内事業者への影響は。 ②島根地方最低賃金審議会は「中小企業の最賃引き上げに対応する支援策は行政に求める」としているが具体策は。	
11	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. 就学援助費について 2. 住宅のエアコン	要保護児童生徒及び準要保護児童生徒の保護者に対して行う就学援助費は 14 項目が上がっている。新入学用品費については、支給が新年度後と遅いため保護者負担が大きくなるのと同時に、子どもにも悲しい思いをさせるとし、現在の支給のタイミングは年度内となったと認識している。 (1)就学援助費支給の現状に変更はないのか伺う。 (2)修学旅行費は精算後の支給であり、一時的に保護者が負担することになっているとの認識であるが、この認識でよいのか確認する。 (3)学校給食費は、保護者集金を行わず、教育委員会から給食会計へ直接支払うようになっている。修学旅行費の支給方法も工夫次第で、一時的な負担を発生させないようにできないか、見解を伺う。 今夏の猛暑は過去に経験がないほどのものだった。連日「熱中症	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			設置について	警戒アラート」が発令され、告知放送等を通じて市からも注意喚起が行われた。電気代高騰により「熱中症警戒アラート」が発令されていてもエアコンなどの冷房機器を使用せず過ごされていた高齢者を多く見てきた。 (1) 市内住宅の高齢世帯ではエアコンのない世帯がある。所得の関係上つけたくてもつけられない世帯もある。現在高齢者のみの世帯や高齢者単身の世帯が居住している住宅でエアコンの設置されていない世帯は何世帯あるのか伺う。 (2) 所得の関係上、エアコン設置が不可能な世帯に対しては、市としてどのような対応ができるのか見解を伺う。	
			3. 带状疱疹ワクチンについて	带状疱疹は、多くの人が幼少期に感染する水痘(水ぼうそう)と同じウイルスが原因である。加齢や疲労など免疫力の低下に伴い、神経に潜伏していたウイルスが再活性化して発症。発症率は 50 歳代以降で高くなり、ピークは 70 歳代。後遺症が残る場合もあり、予防にはワクチン接種が有効とされる。 (1) ワクチンは現在、全額自己負担の任意接種に位置付けられている。接種にかかる自己負担額を伺う。 (2) 厚生労働省の専門委員会が 6 月 20 日、定期接種化は差し支えないと結論付けた。全国的に見れば、独自に接種費用を助成する自治体も増えており、6 月現在で計 660 自治体に上っている。本市としての助成の対する考えを伺う。	
			4. 障がい者を取り巻く環境について	(1) 障がい者に対する負担軽減は、障がい種別により異なることがある。JR グループと大手私鉄 16 社は来年度 4 月より精神障がい者の運賃割引を導入するとしている。(すでに実施済みを含む)	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				①精神障がい者の負担軽減(JR 運賃)の詳細について伺う。 ②高齢者と障がい者で構成される世帯が多くなりつつある中で「知らなかった」をなくす努力をする必要がある。どのように周知していくのか伺う。 (2)障がい者手帳アプリ「ミライロ ID」の実用について 最近ミライロ ID の実用性を岡山県倉敷市の倉紡記念館と出雲市の島根県立古代出雲歴史博物館で体感した。それまでの手帳をだし、手渡し、確認するという一連の流れではなく、ミライロ ID のスマホ画面を提示するだけで窓口滞在時間の短縮にもなった。 ①ミライロ ID の市内での進展状況について伺う。 ②市の関連施設での利用可能率を 100%と目標を置き、さらに民間企業への拡大も必要と考えるが、見解を伺う。 (3)電話リレーサービスについて ①電話リレーサービスとはどのようなものか。 ②手話を取得していないろう者、発語に不安のある方について、リレーサービスは利用できるのか伺う。 (4)ウィッグ購入に対する補助金とヘアドネーションについて ①ウィッグ購入に対する補助は島根県のウィッグ・補正下着の購入経費補助制度があり「島根県がん患者社会参加応援事業補助金」の活用となる。 癌以外の要因による脱毛患者にもウィッグ購入できるような補助を県に拡充を進言できないか、また市として補助制度を作る考えはないか見解を伺う。 ②小児がんをはじめ、先天性脱毛症、予期せぬ事故などで頭髪を失	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				った子どものため、寄付された髪の毛でウィッグを作り、無償で提供する活動に「ヘアドネーション」がある。民間で運営されていると認識しているが、頭髮提供を呼び掛けている自治体は多くある。本市での「ヘアドネーション」はどのようなになっているのか伺う。	
12	15	周藤 正志 (一問一答)	1. 政治倫理条例の 制定について 2. ハラスメント防 止条例の制定につ いて 3. 成熟した市民と なってもらいた めの教育について 4. 石飛市政の成果 と改善点について 5. 第 3 次総合計画	全国的に長や議員の不祥事が絶えない。長や議員等がその権限や地位を不正に行使して自己又は特定の第三者の利益を図るのを未然に防止することを目的とした政治倫理条例を制定すべきではないか。(約 400 自治体制定済) パワハラ、セクハラ、カスハラなどハラスメントが大きな社会問題となっている。市長等、職員及び議員のハラスメント防止条例を制定すべきではないか。 その人に沿った「知・徳・体」を向上させることが何より重要と考えるがその上で (1)カルトや反社そしてスマホにおける人権など、現実社会に対応した教育が今後一層必要ではないか。 (2)「聞く姿勢や話し方とその内容、また、どう文章を読み解くか、そして自分の言葉で何をどう書くのか」など、これからの教育は何はともあれ国語力の向上にもっと力を入れるべきである。 市長の任期も残りわずかとなってきたが (1)成果は何であったのか、また思いどおりに何ができなかったのか。 (2)施政に当たっての反省点と改善点は何か。 (3)市民福祉の向上が幾何かでも図られたか。 (1)2035 年(計画最終年)には市勢のバロメーターである人口及び	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			と雲南市の未来予想図について	少子化（出生数、合計特殊出生率）と高齢化はどうなっているのか。 (2) 市民にとっての一番の関心は「市民生活が現状よりも何がどう良くなっているのか。あるいは住みやすさや幸福度が上がっているのか」であるが、どういう未来を描いているのか。	